

ふ く っ
シルバー 福津

第28号

2019年(平成31年)
3月15日発行

自主・自立、共働・共助



あなたの元気を
シルバーで活かしてみませんか



シルバー人材センターで、いきいきと活動されている会員の方をシリーズで紹介しています。今回はセンターで理事として、生活援助子育て支援推進委員会で委員長を務め、なの花会(女性会員の会)の運営に携わっている網協久美子さんです。

シリーズ第10回

私のいきいきライフ

会員 網協久美子



「おいしい」の一言が励みになっています

私の生い立ち

私は三池炭鉱に勤める炭鉱マンを父に持ち、高校生まで熊本県の荒尾市で育ちました。中学生の頃、日本最大の労働争議や戦後最大の炭塵

爆発などで四百数十人の人たちが亡くなる事故があり、私の叔父や友人の父親も犠牲になりました。その時の悲しい思い出は今も鮮明に記憶に残っています。
炭鉱の閉山に伴い、母校である小・中学校は廃校となり、高校は他の高

校と統合されて、育った地域は現在、過疎の町となっています。高校を卒業した後は、隣の大牟田市にある炭鉱の下請け会社に事務員として勤めました。

福間に嫁いで

親戚が福間に住んでいたこともあり、縁あってこちらに嫁いできました。嫁いだ先は兼業農家で米作りをしていました。農業の経験は母の実家で手伝いをした程度で本格的な米作りは初めてでしたが興味もあり、夫と姑から一つ一つ教えてもらいました。初蒔きから田植え、稲刈りまで家族、親族総出の大変な作業でしたが、収穫した時の充実感、喜びは例えようもないものでした。数年前に夫を病気で亡くしましたが、最期の五ヶ月間は在宅で、家族みんなで精一杯看護しました。できるだけのこととはしたという思いと、もっとできたのではと相反する思いが今も同居しています。夫は弱音を吐かない我慢強い人で、家族思いのとても優しい人でした。

子育てと仕事に奮闘

三人の子育てをしている頃は、

パートの仕事もしていました。ある病院の厨房で五年間、調理の基礎をしっかりと教えてもらいました。運転免許も四十代半ばで取得して行動範囲が広がり、実家の両親の看護にも大変役立ちました。介護ヘルパー二級養成講座を受講して、資格を取得し、訪問ヘルパーとして働き、職場の先輩から仕事の心構えなどを教えてもらい、知識を深め、人との対応等自分の判断で行動出来るようになりました。

ある時、犬の散歩中に自動車にはねられました。痛みで何日も眠れない日が続き、鎖骨を手術、胸から腰までギブスをはめて夏の暑さの中つらい思いをしました。入院中はリハビリをしましたが、いざ看護(介護)される身になったとき、どういう手助けをしてもらうと助かるか、そのちょっとした心配りの大事さを改めて知ることができました。

シルバー人材センターの活動

六十歳になるとシルバー人材センターへ入会しようと考えていました。社会との繋がりをもちたい、いろいろな経験を積んだ会員の方と交流して少しでも自分を高めたいとの

思いがありました。入会して十年になります。現在行っている仕事は、出産後の若いお母さんが赤ちゃんの世話でたいへんな時の家事援助で、週一〜二回調理をしています。依頼者の方には味見をしてもらって、味付けの好みを知り、喜んでもらえるよう献立も工夫しています。おしゃべりなどもしながら、子育て中のお母さんのちょっとした気分転換と手



依頼先のお子さんと同様です

綱脇さんへ仲間から一言



上島 たま江

私と綱脇さんとの出会いは、シルバー人材センターに入会する

助けになればと思っています。

シルバー女性会員の親睦を深める「なの花会」は毎月第二金曜日十時から十五時までサロンを開いています。折り紙、手芸品作りや、筆を使った写真などおしゃべりしながら、楽しい時間を過ごしています。女性の方のシルバー人材センターへの入会をお待ちしています。

これからの楽しみ

傾聴ボランティアはほえみみの会で活動しています。人のお話に耳を傾ける傾聴活動は社協の講座を受けた有志で行っています。また菩提寺の詠唱講にも参加しています。お唱えのやさしい音色とリズムに心が安らぐとともに、夫の供養になればとの

前、ある病院の厨房で働いていた時からで、数十年前からになりました。丸顔で、にこにこ話しかけて下さる穏やかさに一目ぼれでした。センターに入会してからも、同じ職種で仕事をするようになり、よく顔を合わせるようになりました。綱脇さんはセンターの行事がある際、みんなに声かけをしてくれて、出席した会員さんには

思いで娘と習い始め、新曲の練習ともなるとがんばっています。

そのほかに芝居を観に行ったり、グルメ情報を耳にしては娘たちと出かけます。筑後川名物エツ料理も六月になると食べに行きます。今後は家族旅行や、孫の成長を楽しみに健康第一で無理をせず一日一日を大切に生きたいと思っています。



娘と猫のアイちゃん

アメ玉やおにぎりなどをそつと手渡しして、まるでお母さんのような温かさのある人です。その人柄は女性会員の中で、きらりと光る宝のような存在です。また大変お料理上手でもあります。これから先もきつと誰かのお役に立てるような活躍を見せてくれると思います。ともに頑張りましょう。

会員百万人 達成計画

高齢化が進む中で地域を支える高齢者の役割が大きくなり、シルバーへの期待が高まっています。国の計画や施政方針演説等でもシルバーへの期待が言及されていますが、実際にはその期待に応えきれない状況にあります。大きな要素としては会員不足があります。企業の定年延長や雇用確保措置が影響し、ここ数年は七十二万人前後で推移しています。全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)では地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより多くの元気な高齢者に働きがいと生きがいを提供し、シルバーが地域で存在感を発揮できるための措置として、会員の増強が必要であると会員百万人達成計画を作成しました。

福津市シルバー人材センターでは会員の方の協力と広報活動の推進により、会員数が着実に増加している状況です。

(7ページグラフィック参照)

「助かってます。」 発注者の声

株式会社プロサポート

係長 小林 誠一

民間職業訓練・社員研修
公共職業訓練委託運営



平成三十
年度の「福
岡県子育て
女性就職促
進事業」で、
小さなお子

様を抱えつつ就職活動をされているお母様方を対象とした「職業訓練」を実施しております。その授業中における託児スタッフとして福津市シルバー人材センターを計十八回利用させていただきました。スタッフのきめ細やかなお子様への対応はもちろんの事、お子様と離れるのが初めてのお母様や、子育てについて相談できる方が近くにいらっしやらないお母様など、さまざまな悩みを抱えているお母様方にも細やかな気遣いをいただき、本当に助かりました。子育てにおける悩みへの対処や工夫、地元の情報提供や相談にもシニアの経験を生かした助言で対応

していただきました。

子育てマイスター有資格者や地元で長く住まれ、育児経験が豊富なシニアスタッフの方々にご支援いただき、お母様やお子様が必要なステージへ勇気を持って進むきっかけにもつながりました。その中でも、特に安全面を一番に配慮していただき、安心して業務をお任せすることができました。

お母様方からは「子供がスタッフの方から教わった歌や手遊びを家に帰って嬉しそうに教えてくれて、子供の成長も感じることができました」「託児の方が全員優しく接してくださってとても良かった」「保育園、幼稚園に預ける前の練習になった」等のお声をいただき、満足度も非常に高かったです。今後もよろしく願います。



会員学習会

関係団体の協力を得て、健康講話や高齢者の交通安全について学習しています。

また学習会では、シルバー事業の趣旨・目的についての再確認と事業実施状況報告がありました。
1月18日(金)・1月29日(火)
2月15日(金)



交通安全講話



健康講話

マナー講習会

仕事をする上でのマナーと知識の習得や、グループに分かれての意見交換を行いました。
2月8日(金)



各種講習会



9/22 折り紙サロン



市民の皆さんを対象に各種講習会を開いています。今回、子育て支援センター利用のお父さん・お母さんが作る「子ども用箱いす作り」の指導、新しい年に向けての「ミニ門松づくり」、そして楽しい「折り紙サロン」等に多くの方が参加されました。講習会は市の広報誌等でご案内しています。どうぞお気軽にご参加ください。



子どもの名前を彫りました



1/19 子ども用箱いす作り



12/22 ミニ門松づくり 「私たちが作りました！」

各種広報活動



福津市長を表敬訪問しました！

十月十六日、理事長と運営統括委員会委員が原崎市長を訪問し、シルバー人材センター事業の推進に向けた支援要請を行いました。

これまでの活動に加え、保育・家事援助分野の就業支援にも取り組み、地域のいろいろな要望に貢献できる組織を構築していることを報告し、理解と支援をお願いしました。

工作教室を開催しました



松ぼっくりを使ったクリスマスツリーやリースを作ったよ！



出張入会説明会を開催しました！



11/30 津屋崎郷づくり交流センター



荻原事務局長



福津市シルバー人材センター



12/21 福間郷づくり交流センター



10/26 東福間中央公民館

普及啓発促進事業



写真で見るセンターの活動

シルバー人材センターの普及啓発促進事業を十一月三日(土)～四日(日)の二日間、福津市文化会館(カメラアホール)前の屋外テントで行いました。好評の包丁研ぎやリサイクル自転車の販売等で賑わいました。



シルバーの入会をご案内しました



ポップコーンが新しくメニューに!



綿菓子も美味しいよ



おなじみのリサイクル自転車販売



女性会員による手芸品を販売



一生懸命に包丁を研ぎました



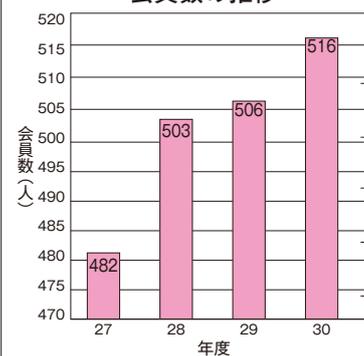
ボカシ肥料に根強いファンの方が...

広報委員会の冒頭、理事長から3ページに記載している「会員百万人達成計画」について話があった。全国の各センターに目標数があり、いかに推進していくかが問われている。既に当センターでは出張入会説明会や理事による就業先開拓も実施しており、これらの深度化と更なる対策が必要になる。当委員会でも広報誌での情報提供等を通じて広く周知を図り、多くの人に入会を呼びかけていきたい。

広報・啓発推進委員会一同

編集後記

福津市シルバー人材センター
会員数の推移



平成31年2月末現在

男性 406人

女性 110人

合計 516人



発行 公益社団法人 福津市シルバー人材センター 企画編集 広報・啓発推進委員会

●あなたのやる気が地域を元気にします！

随時

会員募集中です！

センターが提供する仕事を通じ、会員のいきがいと健康づくりを基本に地域社会に貢献する公益団体です。

●会員になるには

市内在住で、原則60歳以上の健康で働く意欲のある方。入会希望の方は入会説明会にご出席ください。

●入会説明会

毎月第1・第3水曜日の10時から、シルバー人材センター事務所で行っています。

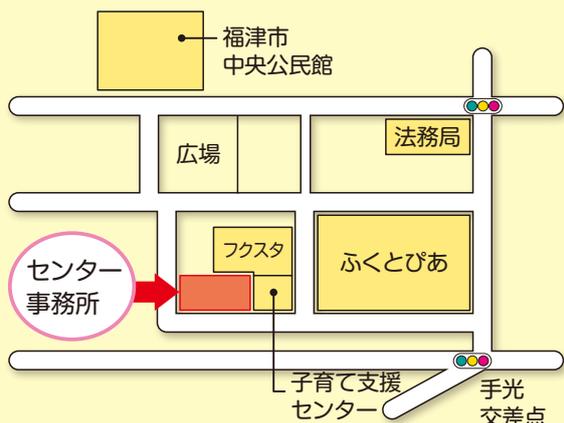
●入会説明会風景



●入会説明資料



シルバー人材センター事務所ご案内



●会員互助会活動 センターに登録している会員で構成され、親睦と相互扶助を図ることを目的に様々な活動をしています。



ボウリング大会



許斐山登山

公益社団法人 福津市シルバー人材センター

〒811-3218 福津市手光南2丁目1-1 ふくとぴあ・いきいき交流館内

TEL 0940-43-6541 FAX 0940-43-1214

メールアドレス fukutsu-sc@sjc.ne.jp URL <http://www.fukutsu-sjc.jp/>